

# アイポス通信

2022年

3月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

## 特集

### 年金受給の繰り下げが75歳までに拡大。

年金には、老齢年金、障害年金、遺族年金があります。繰り下げ制度があるのは老齢年金になり、老齢厚生年金と老齢基礎年金を繰り下げることができます。老齢年金は原則として65歳で請求できますが、現在でも65歳で請求せずに、66歳以降70歳までの間で請求することも可能で「繰り下げ請求」と言います。1年繰り下げごとに8.4%の割合で増額され、70歳まで繰り下げた場合、現在は最大42%年金額が増額されます。大きな増額ですね。これが2020年に成立した年金制度改正法により、2022年4月以降に70歳になる方から、老齢年金の繰り下げ請求の上限が現在の70歳から75歳まで拡大され、75歳で繰り下げ請求をすると年金額は最大で84%の増額となります。リタイア後の年金額がぐんと増えるのは大きな魅力です。とはいえ、75歳までリタイア年齢を伸ばせるかどうか…微妙なところもありますね。病気や職場の状況など、人生何があるか分からないもの。

そういう状況に備えて、年金はもらい方にある程度の「柔軟性」があります。

**柔軟その壱** お勤めの方は、老齢基礎年金と老齢厚生年金の2つを受け取れますが、一方だけを早めにもらって、もう一方を繰り下げで受給することも可能です。老齢基礎年金を繰り下げの場合、付加年金に加入していた人は、付加年金も同様に増額されます。早めにもらいたい気持ちと、長生きに備えての安心とをバランスよくという人には良いかもしれません。

**柔軟その弐** 66歳以降も元気に働いて繰り下げ受給するつもりだったけれど、68歳で急な病気や家族の介護で退職せざるを得なくなった。こういう場合は、65歳～68歳までの3年分の年金を一括で受取り、68歳以降増額無しで年金を受け取ることもできます。

## ? マネークイズのコーナー

2017年1月から個人型確定拠出年金の加入対象が拡大しました。新たに加入資格が与えられた方は次のどれでしょうか？

- 1、専業主婦
- 2、自営業者
- 3、高校生

(答えは裏面にあります！)



## 今月のお知らせ

3月3日はひな祭りでしたね。有名な「ひなまつりの歌」の歌詞(4番まであります)は前から素敵だなと思っていたのですが誰が作詞したのかを知らず調べてみると、なんとサトウハチローさんでして、ビックリ。知りませんでした。私は日本の童謡の中で一番好きなのは「ちいさい秋みつけた」なんですよね。こちらもサトウハチローさん作詞。小学校の校歌も数多く作詞されています。学校の校歌の作者も知らないの



## コラム ▶ 今からでも遅くない！？ iDeCo が 65 歳まで加入可能へ

特集は公的年金、コラムは私的年金ということで年金尽くしの 3 月号です。2022 年 5 月より iDeCo に加入できる年齢が 60 歳までから 65 歳までに拡大されます。iDeCo とは正式には「個人型確定拠出年金」といい、20 歳～60 歳までの間、自分で決めた金額（最低 5,000 円以上）を積立運用して、60 歳以降に受け取る私的年金制度の一つです。①拠出額が所得控除②運用益が非課税③受取時に退職所得税制が適用 と税制面で大変優遇されており、一押しのお勧め制度です。このイデコに加入できるのは、20 歳～60 歳までの国民年金の被保険者が加入できるのですが、加入年齢が 65 歳まで拡大されます。現在 60 歳～の方で iDeCo の受取を開始しておらず、国民年金の任意加入 or 厚生年金の被保険者であれば、再度加入して拠出を再開することができます。働くモチベーションの背中押しにもなりますね。これまで 50 代の方は「iDeCo に加入しても 60 歳で受取なんて、短いから意味ない」という反応がありましたが、65 歳迄ということであれば始める良いきっかけにもなりそうです。注意点としては、iDeCo を 60 歳から受け取るには、加入期間が最低 10 年間必要です。10 年に満たない場合は、

右表のように受取年齢が遅くなります。また、公的年金の受取開始が 75 歳まで繰り下げできるのと同じように、iDeCo の受取開始年齢を 75 歳までに拡大されます。残念ながら公的年金のように、増額されることはありません。とはいえ、お持ちのイデコファンドが万一下落していた場合は、75 歳まで回復を待つという選択肢ができたのは良いことですね。

iDeCo加入期間	受け取り可能年齢
10年以上	60歳以降
8年以上	61歳以降
6年以上	62歳以降
4年以上	63歳以降
2年以上	64歳以降
1ヵ月以上	65歳以上

※60歳以上で初めてiDeCoに加入する場合は、「加入日から5年以降」で受け取り可能（2022年5月より）

## A マネークイズの答え

1、専業主婦 です。  
2017 年 1 月から新たに「専業主婦」「勤務先に企業年金がある会社員」「公務員」等も加入できるようになりました。高校生は無理ですが、国民年金に加入している大学生であれば、大丈夫です。18 歳の場合も厚生年金被保険者（サラリーマン）であれば加入することができます。早いほど効果が高いため、積極的に検討頂くの良いのではないかと思います。個人的には、もっと枠が増えると良いのにとおもいます。

## 編集後記

先日、淀川の河川敷で開催された間寛平ハーフマラソンに参加してきました。スタート 1 km くらいで足が痛い…走り切れるか不安にもなりましたが、走り続けると徐々に感触が良くなってきて、思っていたよりしっかり走り切ることができました。できない勝手に頭で判断しないで、淡々と進んでみると意外といける！！そんな経験でした。これも 2 年ぶり開催の「リアル」のマラソン大会の力です。早くリアル開催が当たり前の日々になって欲しいものです

## 発行 一級ファイナンシャルプランニング技能士

CFP 宅地建物取引士 相続コンサルタント 森拓哉

大阪府茨木市園田町 6-1 フィールドア 2 階 (株)アイポス

電話 072-634-3331 メール info@i-pos-co.jp

